

14. 第二外国語科目履修案内

第二外国語には、200番台から履修できるドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語・中国語と、300番台から履修できるイタリア語・韓国語の計7言語があります（入学後2年目以降に履修）。そのほか、選択科目のみの（選択必修には関わらない）言語として、古典ギリシア語、古典ラテン語があります。

選択必修科目：4単位必修

最初は全員が200番台から履修できる5言語から一つを選択し、初級1（1Q）・初級2（2Q）と続けて履修し2単位修得しますが、残りの2単位をどのように履修するかは以下の二通りがあります。

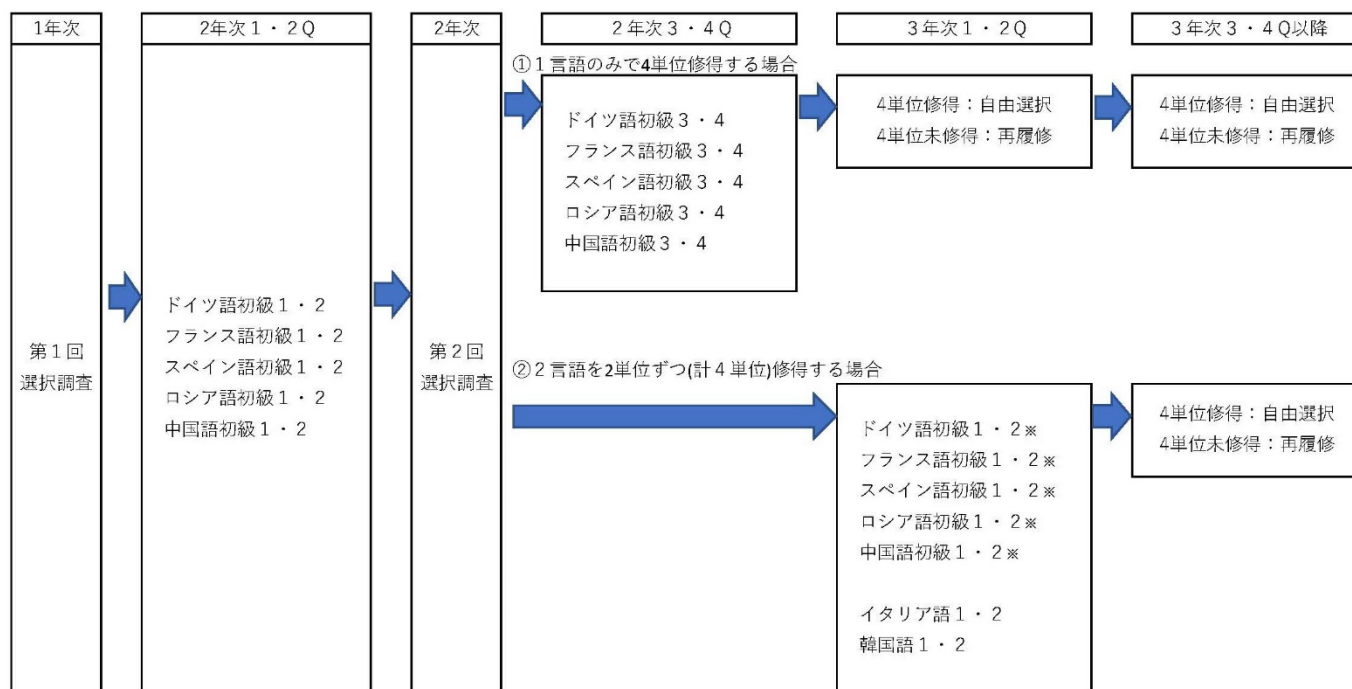
① 1つの言語を初級1から初級4まで続けて履修する

200番台の初級1・初級2で履修した言語を、200番台の初級3（3Q）・初級4（4Q）でも引き続き履修します。各1単位で合計4単位となります。

② 2つの言語を2単位ずつ履修する

200番台の初級1・初級2で履修した言語とは異なる言語を上記の7言語から一つ選択し、次年度に残りの2単位を修得します。200番台を選択する場合は初級1（1Q）・初級2（2Q）、300番台を選択する場合は1（1Q）・2（2Q）と続けて履修します。

第二外国語選択必修4単位の履修方法フローチャート



※ 第1回選択調査で選んだ言語は選択できない。

※ 1年次に選択調査を実施します。詳細は調査案内に記載します。

※ 選択調査で回答した言語を履修登録しなかった場合や、単位を修得できなかった場合は、翌年度以降に同じ科目の再履修が必要です（原則として、別の言語を履修した場合は「選択必修科目」として認められません）。

選択科目：

1. 初級，イタリア語 1・2，韓国語 1・2

選択調査で回答した科目 4 単位を修得した場合，各言語の初級 1～4，イタリア語 1・2，韓国語 1・2 を選択科目として履修することができます。

2. 中級，上級

ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語・中国語の中級と上級は，300 番台で履修します。それぞれ 1Q・2Q，あるいは，3Q・4Q と，続けて 2 単位履修することが望ましいです。

3. 会話（入門・基礎），会話（初級），会話（中級），会話（応用），会話（中級・応用）

ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語・中国語の会話（入門・基礎、初級）及びスペイン語・ロシア語の会話（中級）は 200 番台で，会話（応用），会話（中級・応用）は 300 番台で開講します。それぞれ 1Q・2Q，あるいは，3Q・4Q と，続けて 2 単位履修することが望ましいです。

4. イタリア語 3・4，韓国語 3・4

3Q・4Q と，続けて 2 単位履修することが望ましいです。

5. 古典ギリシア語，古典ラテン語

通年で続けて履修することが望ましいです。

6. 第二外国語海外研修

国外の大学で行われる外国語研修に学生を派遣し，外国語力，特に実践的なコミュニケーション力を強化することを目的とします。派遣前に事前学修，帰国後に報告書作成を課すことにより，海外での外国語研修の学習効果を高めます。